

広報

かわにし

(毎月10日発行)

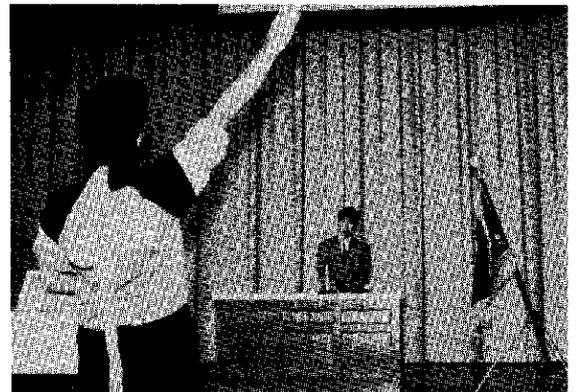
人口の動き	
—10月1日現在—	
男	4,529(-5)
女	4,595(+5)
計	9,124(0)
世帯数	2,273(0)
()は前月比較	

平成元年 10/10 No.374

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111) (FAX 0257-68-3828)
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



星名さん 技能 オリンピックで 銀メダル



大会前、川西中学校で激励を受けた星名さん(7・15)

8月27日から9月3日まで、イギリスで開かれた技能五輪国際大会で、星名力さん(学校町・20歳)が、みごと銀メダルを獲得しました。

日立製作所(北蒲・中条町)勤務の星名さんは、2年間この大会に向けて厳しい訓練を受けたそうです。

出場した電子機器組み立て部門の規定時間は、3日間で延べ22時間あまり、主な作業は電子部品のハンダ付けで、大会では自動車用のパネルメーターを作りました。

帰国後、町長室を訪れ「訓練を途中でやめたくなくなったときもあった。でも、出場することができ、いろいろな国の人たちと交流し、大変いい経験になった。今後の仕事に役立てたい」と、話していました。



休日救急医

10月10日 至誠堂医院(西蒲町) ☎52-3276

15日 富田医院(神明町) ☎52-3269

22日 大島医院(川原町) ☎52-2957

29日 中条病院(中条) ☎57-3018

11月3日 山口医院(下条) ☎55-2003

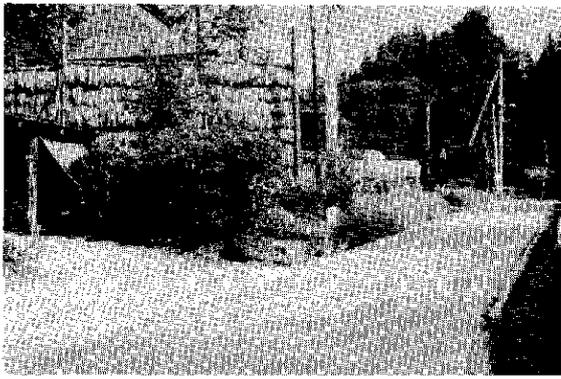
5日 千手診療所(中央町) ☎68-2034

議会報告

老人医療と山菜公園

上村 広治 議員

- ① 中子平を運動公園にする計画はどうなっているのか。
- ② 「なかまの家」と関連させて老人福祉施設、老人医療機関構想を強力に推進できないか。
- ③ 中子平の裏山一帯に山菜公園を併設してはどうか。



国道404号大白倉地内 (9.25)

② 町の寝たきり老人は、三十八人(昭和63・12現在)である。十日町・三好園入園八人、在宅三十人となっている。

去年から、病院も老人養護施設もない町に、老人施設を導入するよう関係方面へ要請してき

九月一日から二十日まで、第六回市議会定例会が開かれました。(前半は、九月号に掲載のとおり)

十九日には、七人の議員から市政に対しての一般質問が行われました。続く二十日には、一般会計ほか七件の補正予算(昭和六十三年度水道事業会計決算の認定などが審議可決されました。一般質問の概要を中心にお知らせします。(質問順に掲載します。))

- ④ 温泉開発と、有効活用は。
- ⑤ 節黒城跡の休憩所整備と入山道路の改修見直しは。
- ⑥ 国道四〇四号大白倉—大貝間の改修見直しは。

南 雲 町 長

① 本来、競輪の場外車券売り場の計画を断念した時点で、事後対策に人らなければならなかったが、その後、私と、事業協定を結んだ相手とは、お会いしていない。町議選も終わったのだが、早い時期にお会いして具体的な協議に人らなければならな

いと思っている。

② 町の寝たきり老人は、三十八人(昭和63・12現在)である。十日町・三好園入園八人、在宅三十人となっている。

去年から、病院も老人養護施設もない町に、老人施設を導入するよう関係方面へ要請してき

た。しかし、国や県の基本的な考え方と合致せず、協議は進展していない。

「なかまの家」と関連するものが好ましいのかどうかは、別として、医療施設、老人養護施設が必要であると考え、できるだけ早く推進するよう努力する。

③ 山菜公園だけを早く設置するのは、どうかと思う。第一点の問題の具体化と併せて考える方が望ましいと思っている。

④ 松葉荘周辺の温泉源調査では、ほとんど可能性が薄いという報告を得た。松葉荘周辺より「やや望みがある」という場所もあるので、二次調査を進めたいと考えている。

⑤ 昭和六十一年度、県費事業で再建するよう予算措置を講じたところが、県は、災害復旧的なものより、大規模な計画でない

と対応がむずかしくなった。

民間の有力な方(スポンサー)からご協力いただける見通しがついている。概要は、①ご神体を安置する建物建設。②節黒城

の歴史を中心とする解説板の設置。③キャンプ場に野外ステージの造成。④芝、花の植栽、駐車場の整備。⑤テニスコートの造成。⑥休憩所建設など、おおよそ三千万円ほどの財源援助を願うことで話がまとまりつつある。

町では、この民間依存部分と並行して水対策や道路整備、さらにキャンプ場には、パンガロの配置を考えたい。

⑥ 十日町土木事務所管内(川西分)の未改良区間は、三二〇メートルである。本年度予算で用地買収が完了する予定だ。平成四年度完成を目標に努力している。小国町分(柏崎土木管内)も、同じ年度に完成する予定だ。

一方、新しい道路改良計画は、全延長六・六キロ、推定事業費六六億円である。そのうち、大倉—大白倉公民館二・〇四キロのうち、大白倉トンネル(仮称)

山村留学の将来は

戸田 哲次 議員

「育てる会」が調査に来るのが、十月中旬以降ということである。せっかくの機会だから、町の事情や考え方を申し上げてご指導をいただき、今後の実現に取り組んでいく考えだ。

当面、調査に必要な費用を補正予算で措置したところだ。

南 雲 町 長

白倉小の全校朝会 (9・25)



は、本年度一四〇メートルが実施される予定だ。

全延長のうち、トンネルが三、橋が三カ所出来る計画だ。したがって、小白倉—小国は、現道とはまったくちがった新しい道路が造られる仕組になると申し上げておく。一年でも早く全線完成に努力したい。

児童数減少の学校対策

柳 藤作 議員

- ① 白倉小学校の児童数は、平成六年に四人となる。当局の対応とお考えを伺いたい。
- ② 養豚の調定飼育頭数は、先の議会でも四、五〇〇頭とお答えいただいた。現在の飼育頭数は。

南 雲 町長

- ① かつて、高倉小学校の廃校を根津前町長の英断で、撤回した。ところが、四年後には、在籍児童がなくなる事態となって廃校に至ってしまった。

白倉小学校は、なんとか存続することを優先して考えていきたい。

- ② 悪臭公害は、古くて新しい未解決問題である。施設が順次拡充された経緯もあり、公害は解消されていない。調停は、あく

千手養豚団地 (9.22)



その後の中子再開発

田口直人 議員

- ① 関連業者・ジスタ建設との事業協定書の変更内容は。
- ② 九月まで冷却期間をおき、新しいプランで進めたいというこ

まで行政的な立場で、法的強制力はともなっていない。
小幡産業課長補佐 九月一日現在の飼育頭数は二、六〇七だ。四、五〇〇頭という数字は、二月一日現在の出荷頭数四、二〇五頭のことではないか。

とであったが、その内容は。

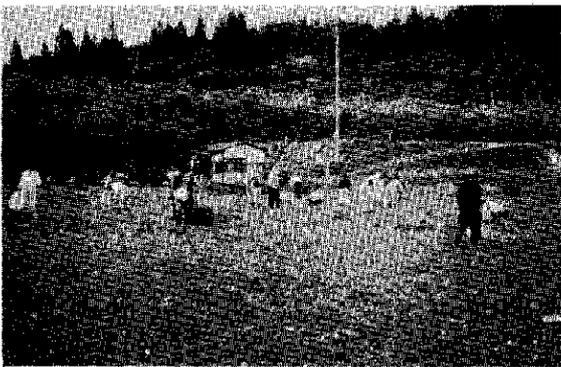
- ③ 住民からは、高齢者介護施設や総合医療施設誘致の要望が強い。この開発計画に含まれているか。
- ④ プランナー（企画・立案者）

- の信用度に問題があるように承ったが、信用回復はなったのか。
- ⑤ 農業衰退への歯止め方策は。

南 雲 町長

- ① 事業協定書は、三月三十一日付で調印してある。マスタープラン（基本計画）中、最初に着手したいとしていた場外車券売り場が実施できなくなった。したがって、その後の進め方を改めて協議することになるわけだが、まだ、行っていない。
- ② 町議選が終わって落ち着いたら協議したいというのが、私の意向である。極力、早い時期に協議したいと伝えている。

- ③ 契約の相手方が、今後のデベロッパー（開発業者）を紹介してくれることから、次の展開が



ナカゴゴルフ練習場 (9・25)

はじまる。万一、白紙に戻そうということになれば、新しい立場で「ふれあいリゾート構想」にもどって根本から考え直さざるをえないことになる。

- ④ 万事、次の協議の結果がすべてを解決することになると思われる。
- ⑤ 町としても、重要なことであるが、大変むずかしい問題だ。

水田農業確立対策は、平成二年度から後期に移るわけだが、政府も明確な方針を打ち出していない。農協の系統組織でも、減

葉タバコに代わる作物は

高橋 重 議員

- ① 新十日町大橋の工事の進み具合と完成の時期、開通の目標は。
- ② J R水路工事の完成も近いと聞く。水の補償問題と解決策は。
- ③ 葉タバコの生産が窮地にある。代替作物など具体的方策はないか。

南 雲 町長

- ① 新十日町大橋は、昭和六十一年度着工、十日町と共同施行で進めてきた。しかし、四〇〇メートルの橋が、二十一億円を超える事業費となるため、六十二年度からは県代行業業として進

反の面積配分の考え方が、下部討議の段階である。現時点では、これらの検討結果に基づいて行政として対応してまいりたい。米作も広域的な集団化、生産者団体の育成、中核農家の育成と後継者対策を進めていきたい。農家の高齢化により、後継者の育成が急務である。今後は、農業でない農村、農家の後継者対策としての企業誘致活動を展開する中で、農業の担い手の確保に結びつくような方策を進めてまいりたい。

めている。現在、橋脚五基、橋台一基が完成した。本年度は、ケタ工事に入った。完成は平成三年度だ。取り付け道路の町道山野田下平線は、一、〇八一メートル中、二八五メートルが完了。残る部分も一部を除き橋の完成と同時に完了したい。なお、十日町の道路も川西側とほぼ同じペースで進んでいる。それぞれが連携をとりあっているところだ。

- ② 飲料水 〓 当町の要請で第三次上水道拡張計画（昭62―平成元年）に対し、J Rが所定の費用負担をするよう事前に協定している。今後は、維持管理費用の負担について引き続き協議する

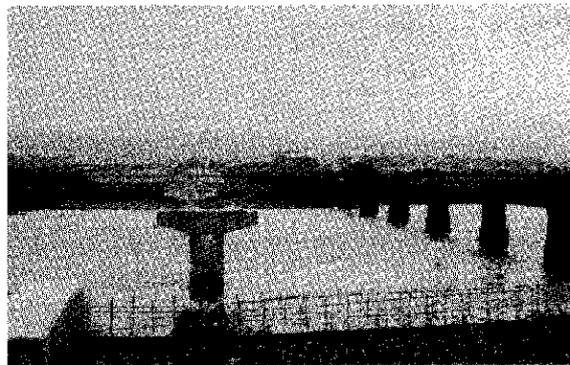
予定だ。

農業用水―土地改良区の強い要請にもかかわらず、事前補償はできないとしている。しかし、工事に起因する被害に対しては迅速、完全に補償することを基本方針で合意している。水田四六ヘクタールの被害報告が出てくる。これは、協定に基づいて補償している。見えない部分の被害など、地元の要求を出しており、二十五日に第一次回答がある。その際具体的な補償方針をただしたい。さらに、それを受けて二十九日の議会特別委員会でも検討したい。現況は、臨時的なもので、早い時期に恒久的対策がとられなければならない。雑用水―千手養豚団地から野口に至るまで、約一五〇世帯から水源枯渇や減水の苦情がまわっている。聞くところによると、「町の考え方を知りたい」と、聞き込みをしているようだが、手の内を明かさないう方が良く考えている。いまから、きちっとした対応をするよう腹を

J R 工事の水補償

根津 健治郎 議員

- ① 町行造林の今後の計画と管理、水資源の養成は。
- ② J R 水路工事、補償の実情を



川西側から見た新しい橋 (9.22)

南 雲 町 長

- ③ 今後の中子開発を伺いたい。
- ④ 主要地方道小千谷川西十日町の改良促進と国道昇格について伺いたい。

① 町行造林事業は、昭和五十年から着手、毎年約三〇ヘクタールを造成し、六十二年度末には五三八ヘクタールの植栽に及んだ。今後は、既植地の保有に重点を移しながら、毎年五ヘクタール程度の造成をはかりたい。本年度登録作業員は、四三人(うち女子二人)で平均年齢は五十九歳だ。昨年度の実績では、作業員五四人、年間出役者数五、二七〇人、出役可能日数一六八日、一日当たり平均三四人、出勤率六二%だった。作業員の減少で事業消化が、困難な傾向にあるようだが、なんとか町内の作業員でまかなえるだけやっていきたいと考えている。

水資源の養成は、針葉樹より広葉樹が優れている。しかし、林業経営の実利面から針葉樹を重点に進めたい。川西町の水源は「危険ではない」と診断されている。

② (前段は、高橋議員に対する答弁と同趣旨につき省略) J R 土捨て場に伴う、仁田地内の工事は、具事業と抱き合わせて進んでいる。費用負担は県と町、そしてJ Rの二者が協議して進めている。総延長四六〇メートル概算事業費、億円である。十日町土木事務所管内の予算枠で

は、一カ所平均六百万円程度にしかなっていないので、国庫補助で対応しよう交渉している。

③ (田口議員に対する答弁と同趣旨につき省略)

④ 国道二五二と四〇四の二本と

並行することで極めて厳しい状況である

むしろ、国道昇格を待っていない、改良がいつになるか分からない。都市計画による街路工事でも対応したいと考える。

アユの住める川に

水品 忠 雄 議員

南 雲 町 長

- ① 町の機構に開発課、活性課(仮称)などを設けてはどうか。
- ② 信濃川は、アユの住める一番きれいな川にランクされている。その支流である町内の小河川は、下水道の整備できれいになっていく。ところが、落差工などで魚が上がってこない。魚道や側



町行造林の下刈り作業 (小白倉)

壁の下端をつくり、魚がいつぱいの川にする考えはないか。

① 不特定の事項を想定した先取りの機構改革の考えはない。

② 今の川は、周囲をコンクリートで固め洪水には強くなった。しかし、そこに住む魚類などには住みにくい環境になったことは、ご指摘のとおりだ。

例をあげれば、最近、淡海川に魚類がさかのぼってこないという。それは当町と小国町の境界近くに、小国町・越路町の水道水源に、川を一部せき止めたためだと聞いている。両町長に魚道の設置を要請している。

建設省では、桜堤モデル事業水辺の緑化・美化事業など水辺にやすらぎを取りもどそうとしている。

私自身、このことは必要だと思っている。可能な所から取り入れたい。

1億円は何に

112のアイデア 委員会で検討

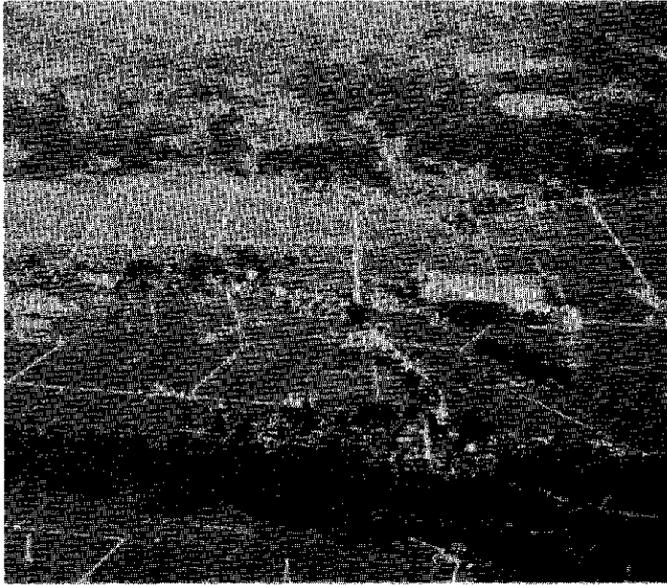
竹下内閣が提唱したふるさと創生事業（一億円）の使い道については、各地で話題を呼び起こしています。

自治省がまとめた中間調査（六月末現在）では、すでにまとめた市町村は、全体の二一・七%となっています。

町でも本紙七月号で、ふるさと創生事業のアイデアを募集しました。八月三十一日の締め切りまでに寄せられたアイデアは、全部で一―二件となりました。そのおおまかな内容は、別表のとおりです。

この中から町職員九人で構成する「ふるさと創生事業検討委員会」（委員長須藤秀雄総務課長）で、十案ほどにしぼり、さらにその中から、最終決定することになります。

来年度予算には、その事業費の一部が盛り込まれる予定です。



千手の一部を空から撮影（8・1）
まん中右側が川西中学校

別表 集まったアイデアの分類

区分	おもなアイデア	件数
むらおこし、活性化、都市との交流	町民広場の確保と造成、山村体験学習センター設置、東京に特産品売り場を設置 ほか	24
観光	美術品展示マトリート設置、アジアグルメ館建設、ネットイルミネーションホール開設、節黒城全面改修 ほか	17
スポーツレクリエーション	メモリアルパーク設置、ふるさと自然公園、西山開発モータースポーツランド構想 ほか	26
人材育成	人材育成事業	5
うるおいづくり	桜の名所づくり、フラワータウンづくり、レンゲ草の街道づくり ほか	19
その他	町営アパート建設、情報ネットワークと教育ネットワーク ほか	21

信濃川左岸の穀倉地帯、通称「下島」に集まった若者たち



川西体験

稲刈りツアー

九月九日―十日、三回目を迎えた「稲刈りツアー」が開かれました。

「田舎とE仲イキイキ体験ツアー」と銘打ったこのイベントは、「越後かわにしこねかの会社」という若者の集まりが企画実施しました。

参加したのは首都圏からの女性二十四人、地元男性二十六人ほど、なんとか一人でも嫁さんにごねかの（来てください）と、きっかけづくりの場を多く設定したこのツアー。松葉荘でのパーティーでは、徹夜組もいたとか…？

「気軽に参加できて、楽しかった」との声も聞かれ、花が咲くカップルもあるのではないかと、主催者は期待していました。



給食のあと、歯みがきをする児童（橘小学校）

九月二十日、上越市・上越文化会館で、県歯科保健大会が開かれました。
席上、歯科保健功労者団体の部で橘小学校（児童二五二人、竹田勝司校長）が、県教育長表彰を受けました。
また、高齢者よい歯のコンクールでは、最優秀賞に押木さんが、優秀賞に若山さんら三人が選ばれました。高齢者のコンクール全受賞者五人のうち、四人が当町の受賞者です。
このコンクールの応募資格は、満六十五歳以上で、歯の健康診断書により県で審査されました。表彰された四人の方に、お話を聞いてみました。

健康は丈夫な歯から
県よい歯のコンクール
押木さんに最優秀賞

【最優秀賞】

押木ヨシヲさん（田戸・77歳）



歯が丈夫なのは、生まれつきだと思います。いまでも歯みがきは、朝一回だけです。

【優秀賞】

若山彦三郎さん（上野・70歳）



一回も、歯医者に行ったことはありません。親しらず歯も、いつのまにか抜けていました。

高橋チヨノさん（赤谷・67歳）

小さいとき、親から指に塩をつけて磨くことを習いました。歯みがきは、朝晩の二回です。



茂野佐平さん（高原山・66歳）

特別の注意はしていません。でも、子どものころから、歯みがきはしっかりやっています。



少年野球大会

優勝は 千手タイガース
千手ライオンズ



選手宣誓をする田畑正範君（上野Aチーム）

9月10日、第19回町少年野球大会が中子運動場で開かれました。

7チームが参加し、A・Bブロックに分かれて熱戦が繰り広げられました。審判に当たった野球協会の人たちは、「勝つことだけが先行し、子供らしい、のびのびしたプレーが少なくちょっと残念だった。」と、話していました。

大会結果は、次のとおりです。

【Aブロック】

- 優勝 千手タイガース
- 2位 橘ドラゴンズ
- 3位 上野A

【Bブロック】

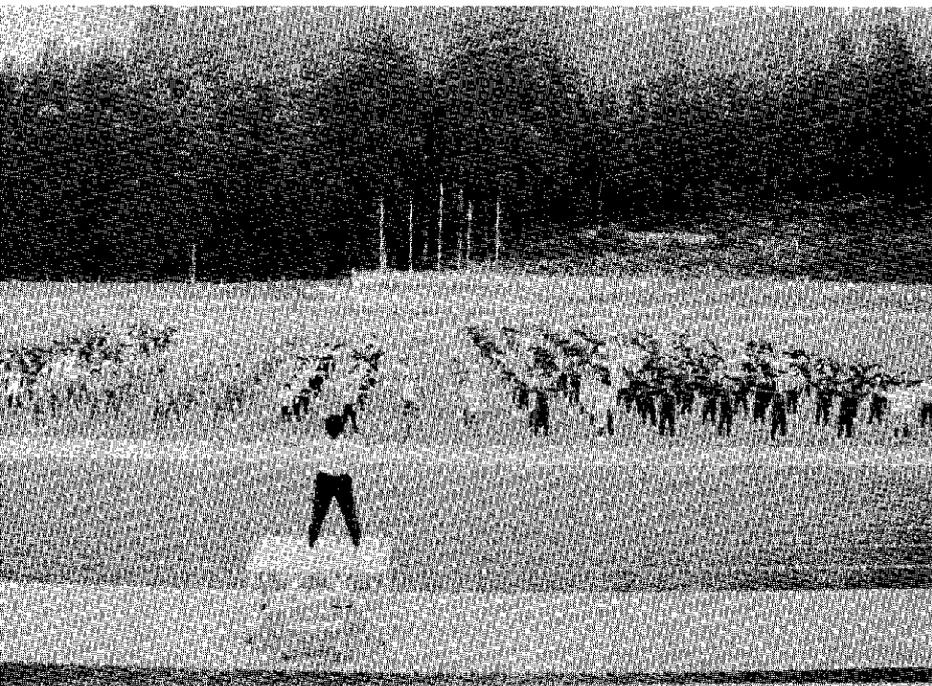
- 優勝 千手ライオンズ
- 2位 橘ホワイトサンダース
- 3位 上野B

9月19日

第20回町内小学校 親善陸上大会

7種目に大会新

去年に続いて十日町市陸上競技場で、町内小学校(五～六年)親善陸上大会が開かれました。時折、雨の降る日となりましたが、全天候型の競技場で、予定どおり全種目を終了することができました。



全員で競技開始前のラジオ体操

※は新記録

【男子】

5年男子100メートル

※ ①山本章人(橘)②柳清輝(千手)③星名康宏(同)

6年同

※ ①南雲啓至(千手)②高橋勲(同)③小林一則(仙田)

5年80m ハードル

①滝井工(橘)②星名力成(千手)③柳清輝(同)

6年同

①櫃間英信(千手)②高橋秀人(仙田)③田中光倫(千手)

5年1500メートル

①村山正浩(千手)②沢潟誠也(同)南雲敏之(同)

6年同

①富井隆暢(上野)②大塚晋(千手)小海基(同)

5年走り幅跳び

※ ①星名康宏(千手)②山本章人(橘)③蔵品和臣(千手)

6年同

※ ①小林一則(仙田)②高橋勲(千手)③高橋重人(橘)

5年走り高跳び

①滝井工(橘)②相崎貢一(千手)③小熊敦剛(上野)

6年同

①南雲啓至(千手)②藤原大輔(橘)③富井隆暢(上野)

5年400m リレー

※ ①千手A(柳、相崎、星名茂、星名康)②千手B(沢潟蔵品、星名力、村山)③橘(藤巻、水落、滝井、山本)

6年同

①千手A(高橋、櫃間、大塚、南雲)②上野A(上村、若山、富井、高橋)③橘(根津、清水、藤原、大久保)

【女子】

5年100メートル

※ ①小林純子(千手)②南雲朝子(同)③関口厚美(同)

6年同

①櫃間悠(千手)②高橋詩江(同)③高橋梢(同)

5年80m ハードル

①相崎真理子(千手)②丸山由加里(同)③高橋恵(上野)

6年同

①庭野悠子(千手)②高橋祐子(同)③清水裕美(上野)

5年800メートル

①中村早苗(千手)②柄沢恵理子(同)③佐藤有子(同)

6年同

①櫃間悠(千手)②内山織絵(上野)③高橋典子(仙田)

5年走り幅跳び

①柳房恵(千手)②小林純子(同)中村早苗(同)

6年同

①高橋詩江(千手)②高橋梢(同)③数藤ひろみ(同)

5年走り高跳び

①相崎真理子(千手)②佐藤奈美子(同)③南雲朝子(同)

6年同

①中川靖子(橘)②高橋典子(仙田)③大浦美佐(上野)南雲さおり(仙田)

5年400m リレー

①千手A(柳、相崎、南雲、小林)②千手B(佐藤、関口、柄沢、中村)③上野(押木、川崎、内山、高橋)

6年同

※ ①千手A(大塚、庭野、高橋梢、櫃間)②千手B(星名、高橋祐、数藤、高橋詩)③上野(斎藤、清水、大浦、内山)

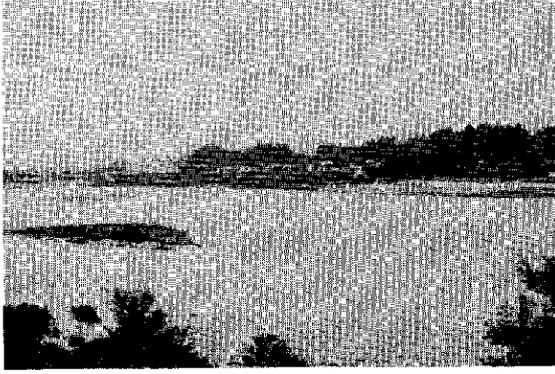
柏崎日記

最終回

岩瀬金子幸作

江木の掛口に驚く

弘化四年（一八四七）四月一日は、太陽曆に換算すると五月十四日に当たる。この日、昼前なかに木落村（庄屋は弥之右衛門）の検地を終えた渡辺平太夫は、地続き三領村（庄屋は仲右衛門）の検地に移行する。田の形が良くなかったので少々の間を取り、二町五反（二・五ヘクタール）ほどの田を一九口に分けたのは、地形や田ごとに、信濃川東から見た長井新田（右方）前方中央は三領



四、五年も耕作した実績からである。九ツ半（午後一時）ごろに相済み、現地に弁当を取り寄せ、千曲川原で昼食を済ませ、

午後は江木の掛口（前原堰のことか）を見分する。二〇町（約二キロメートル）も川上の、伊勢平治村の山の下から千曲川の水を引き、川の岸通り四百間（約七二四メートル）ほどの難所は、岩をくりぬいて水の道を付けた仰山な仕掛けである。落差があるため水が高くかかり、水量も豊富で、どんなに日照りの年でも心配はないと思われた。

地震が治まって安心

見分が済むと、伊勢平治の手観音を参拝し、御堂でしばらく休息する。それから、また上り下りして検地の場所へ足を運び、水道の様子や地味などをよく見る。七ツ（午後四時）過ぎに田口家へ帰り、湯に入ってから調べ物をする。夜は茶を飲んで早く休んだが、地震の気配もなくて落ち着くことができた。昨日の昼過ぎに、柏崎の長井与次右衛門宅から飛脚が到来し

た。書状によると、小千谷で万歳楽（まんざらく）を唱えた二十九日昼時九ツ（正午）の地震で、柏崎も大騒ぎしたそうである。町方の揺れが格別に強く、町人供は一人残らず外へ出て避難し、小屋を掛けて住居した。

陣屋でも全員が庭や通りへ出周囲をびようぶで囲って中に泊まったと書いてある。地震は大まかだったが、破損や怪我人が無くてホッとしたとか。石塔や石灯ろうのような物が所々で倒れ、納屋と舌屋敷が少々破損したていどで済んだという。

「夜半に大風が吹き、雨が降ったのでみんなが落ち着き、家の中へ引きこもってまずは安心でした」と、飛脚も申し聞かせてくれた。これで地震が治まったとすれば大安心である。

近來まれな御高入

四月二日、天気、些風有涼し早朝より下調二取懸、四ツ（午前十時）迄二出来、私ハ三領村之分調べ候。夫より再調べ。

野帳認精算致、八ツ半（午後三時）過二両村共出来上り、郷手代へ渡し請印ヲ取。下々田故石盛致て下候。木落分六拾石余三領分拾八石余、メハ拾石余ニ相成、近來稀成御高入也。村方より願筋も有之、色々理

解致し、七ツ（午後四時）過全御用済二成申候。弥々明日出立二付、寺泊迄之先触郷手代より出し貰ふ。今夕、大肝煎忠之助より酒肴差上度申出。村方地主等二か、わり無之候故引受。与次右衛門、藤左衛門、忠之助罷出相手二成ル。大分大酔、五ツ半（午後九時）過三休ム。

前世からの定め

四月三日、上天気で暖い。早朝に起きて支度し、五ツ（午前八時）に出立、来た時の本道を戻る。御下横目と竿手は、御用が済んだので別の街道を陣屋へ帰ることになり、暇乞（いとまごい）をして別れた。真人宿まで木落村役人供が送ってくれ、ここで人足を継ぎ、小千谷宿へ四ツ半（午前十一時）に着く。宿の二階で弁当を使うと、亭主が又地震の話をしてくれた。

「二十九日の晩は、地震がおつかなくて一晩中外に居た。あれからも少しづつ揺れがあり、みんなが落着かないで困った。善光寺参りに行った小千谷の者は、わずか八人の死矢で済み、ほかの者は無難で帰って来た。希代なのは、蒲原から出かけた三人の座頭衆である。善光寺宿の二階に宿泊して地震に会い、荷物を持ち出して逃げたが、ついでに宿の主人まで助けて出て無難だったそうだ。目の見えな

い者でさえ、運が良ければこのように助かるのだから、はてさて、死ぬと申すは前世からの定めごとなのであろうか。」

平太夫、桑名を案ず

ほどなく小千谷を出立し、塚の山（左）と長岡に至る分かれ道を右に向かう。二〇町ばかり千曲川端を通行し、妙見の渡しを越えて川東に移る。水はだいぶ澄んだが、ふだんよりもまだ可成り少量である。妙見宿で人足を継ぐ。ここからは平地で人足供も村継ぎとなる。三里（約二キロメートル）の道を行き、七ツ（午後四時）ごろ長岡町へ入り、定宿の柵屋に泊まる。

長岡の地震は、巳前（文政十一年十一月）の三条大地震よりもいたって軽かったという。江戸表もそのようで、表へ飛び出したていどの小さな揺れであつたらしい。桑名も大したことがなければよいが、早く父上の便りを承りたいものである。

※「柏崎日記」のご愛読、ありがとうございます。五月号おわび欄の「シロカケ」は「シメカケ」の誤りでした。筆者

阿波おどりを満喫

大和市 鍵田 キヨエ さん

(野口出身)

夜は、小雨の降る中を阿波おどりへと出かけました。そのにぎやかなこと。街中が阿波おどりの連であふれていました。鳴り物の音の大きいこと。耳が破れるばかりです。二、三歳くらいの幼児からお年寄りまで、連の中に入っ上手に踊っているのには驚きました。

一口目は、「にわか連」に入り、翌日は棧敷で見物しました。どちらも楽しかったこと、この上なしでした。旅行者や初心者のために用意されたのが、にわか連です。ベテラン連の鳴り物や指導に支えられまねをする、いわゆる「飛び入り」で大勢加わっています。

さ、連にさ、えられつ、にわか連 われも又踊るあほうか阿波の旅 蜂須賀連しなよく踊る棧敷前 マニキュアの指しなもよきそごう連

「ご想像できますでしょうか。本当に見るのは「アホウ」なんですね。

また、四国はうどんのおいしい所で「たらいうどん」が名物でした。

溪谷のたらいうどんや蟬しぐれ

三日目屋島 栗林公園と友人

五千十円

善意

(敬称略)

老人福祉に

田中一良(仁田)

二万円

広報発行に

川崎広夫(横浜市)

一万円

交通安全に

龍巳(ドライブイン(中仙田))

五千十円



瀬戸大橋をバックに鍵田さん

のお兄様にご案内いただきました。翌日、瀬戸大橋へ行きまし。途中、高速バスを降りて与島で、観光帆船に乗り、島を一周しました。南国情緒豊かな所でした。高松―倉敷は、高速バスで約一時間です。時間の合間に大原美術館を見学、横浜へ九時半に着きました。

明日から野口の祭りかしらー(編集部注)8月25日付お便りと故郷に思いをはせながら一筆しました。皆々様のご健康をお祈り申し上げます。かしこ

係から 皆様のお便りをお待ちしています。役場広報係あて。

10月1日から適用 標準小作料

標準小作料は、農地法で①決めてから三年経ったとき、②生産費や農産物価格が著しく変動したとき、に改めることになっています。

今回は、①の三年経過の年に当たっています。正確には来年春で三年となりますが、今回から更改時期を十月一日とすることなり、六か月早まったわけです。

町農業委員会(滋野一朗会長)で検討した結果、料金は今までどおり据え置くことになりました。ただ、土地の等級による区分が若干変わることになりました。

10アール当たり 標準小作料

平成元年10月1日から適用

農地の区分		小作料の標準額	備考
田の一般地域	1級地	27,000	団体営は場整備田と共済収量等級11級以上
	2級地	23,000	" 12等級以下
	3級地	20,000	" 15等級以下
県は地域	1級地	32,000	整形田で共済収量等級11級以上
	2級地	27,000	不整形田で" 12等級以下
畑の部	1級地	14,000	固定資産税課税標準等級の1~3等級
	2級地	10,000	" 4~6等級
	3級地	8,000	" 7~10等級
	4級地	4,000	" 11等級以下



楽奏吹中川 関東コンクールで 銀賞

川中吹奏楽を

たたえて

朝晩涼しくなりました。いま、稲刈りでございましょう。ハギの花が咲きこぼれ、クリの実がコロリンと落ちて平和な村むらの様子がしのべれます。

九月十七日、宇都宮市で開かれた関東吹奏楽コンクールで、川西中学校が銀賞に選ばれました。

八月の県大会でみごと金賞を獲得。初の県代表として出場した同大会には、父兄ら二十人ほどが応援に駆けつけました。

担当の宮口先生は大会を振り返って、「少し緊張して、力んだところもありましたが、いい演奏ができました。」と、話していました。

毎月の広報を何よりの楽しみにしています。本当におめでとうございました。

九月十七日

八王子市 松浦 サク

(中仙田出身)



2年 原 秀和君



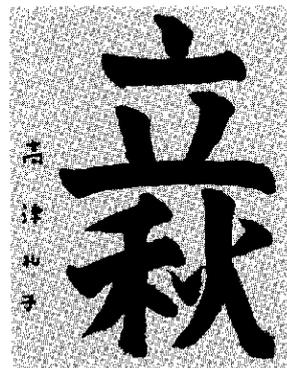
4年 田中 力君



5年 丸山 沢子さん



6年 根津 章君



3年 高津 礼子さん



1年 たかはしたくやくん

ちいさな展覧会

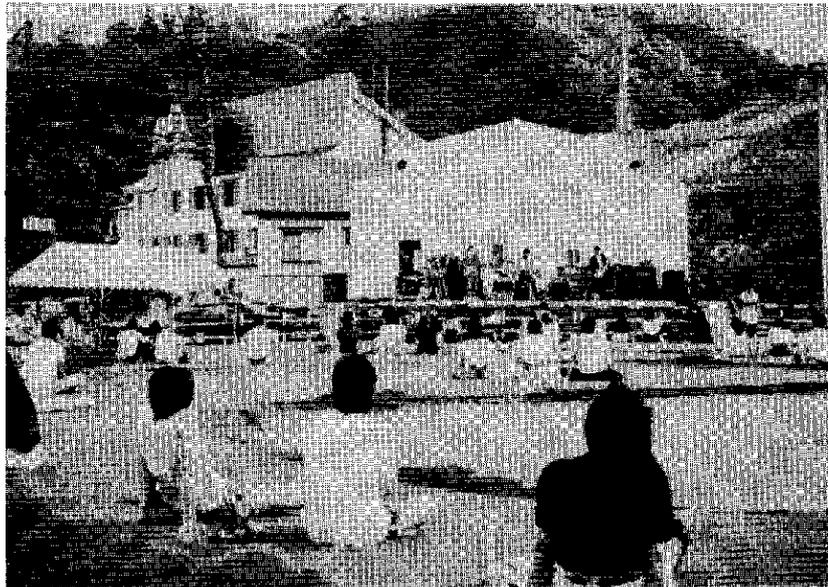
15

橘小学校

(11月号は仙田小学校です)

6時間の アマチュア・コンサート

松葉荘



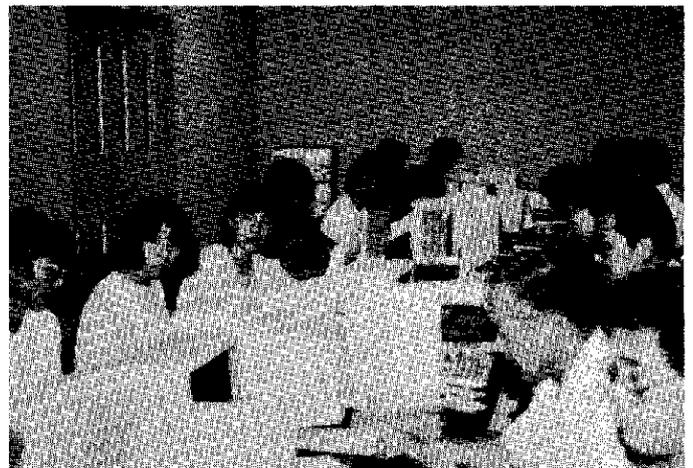
九月十七日、松葉荘の野外ステージで、コンサートが開かれました。
このコンサートは、魚沼一帯と、小千谷市、十日町市にある十二のバンドが集まって結成した「レインドロップス（桜井昭夫会長）」と、松葉荘が企画しました。
午後三時から九時まで、八つのバンドがオリジナル曲などを演奏しました。集まった二百人あまりは、バターゴルフ場の芝生におもいおもいに腰をおろし、耳を傾けていました。
赤とんぼの空、白いステージ、若者のシルエツト、松葉沢の雰囲気はピッタリでした。

9月20日から3日間、総合体育館で初めてのパソコン教室が、開かれました。

20人の参加者を募集したところ、ほかの講座と違ってアツというまに、募集人員を上回る応募があり、急ぎよ先着26人まで数を増やしました。

講座の内容は、ごく基礎的なことが主体で、年賀状を作るのを最終的な目標としていました。

参加者の半分は、初めてのキーボード（文字などを人力するところ）などと対面した人たちでした。主催者は、「機械に触ってもらって、パソコンではこんなことができる、ということを知ってもらえたのでは」と語っていました。



盛況パソコン教室



人形劇は「泣いた赤おに」

9月14日夜、総合センターで人形劇「泣いた赤おに」が上演されました。これは読み聞かせの会「ふきのとう」（小海貴代美会長・会員21人）が開いたものです。

会場には、親子づれが250人ほど集まりました。小海会長は、「初めて開いた人形劇に、これほど集まってくれてビックリしました。毎月第1土曜日の読み聞かせの会にもぜひ、親子でご参加を…」と呼びかけていました。

劇に使った幕やスポットなどは、日本生命財団から寄贈いただきました。

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

佐藤 英之 ひでゆき 喜一 六男 野口

春日優之介 ゆきのすけ 正彦 長男 朝日町

片桐 涼子 りょうこ 義仁 長女 小白倉

かわし 伊壇

太田白南風選

○照紅葉山ひだの影口々に濃く

一面の白美しく蕎麦の花

小白倉 江口みゆき

残る稲架雨にゆるみし繩の端

役終えし案山子を抜きて担ぎ去る

小脇 佐藤 信一

萩の花揺る、山裾父母の墓

久に訪うふるさとは今稲穂波

所沢市 池上マサ子

蓮敷き板十す庭の鶏頭花

みぞそばの中に水音しておりし

岩瀬 小川 益菜

倒伏の稲田ながめて父無口

ようやくに秋晴とる朝忙し

野口 野沢 寅生

こおろぎの壁に來て鳴く山家かな

稲車ゆく旧道の萩さかり

大倉 中条 石平

満天の星の一つの流れけり

小林 直樹 なおき 光雄 三男 上野

藤巻 友佳 ゆか 義明 二女 塩辛

たかさご—こ円満に

小林 真樹 中屋敷

飯塚 美代子 柏崎市から

小川 靖之 赤谷

田中 浩美 発電所通東から

金賞に人あつまりし菊花展

高倉 斉木 和人

稲架の香に音して乾く日和かな

りんどうの色あざやかに露の朝

小白倉 田中 優美

暑き陽を背なに浴びつ、菜を間引く

野口 村越 幸

瓜食うて農夫の語る終戦日

上町 高橋 願似

宵闇の彩る火の見櫓の灯

霧条 星名 星光

雨樋に延び朝顔の花さかり

八王子市 松浦 サク

待ちわびて月下美人の短命な

八王子市 田中 ひさ

寂として句確寺秋のたづま

三領 水品 律

うすうすと名月かかるじル谷間

浦和市 登坂 博史

追憶の老とぼとぼと萩の坂

府中市 野口 東風

白露とて露のかからぬものはなし

中仙田 高野仙齋子

昇天—こめい福を祈る

田中マスイ 60 (本人) 小白倉

蔵品 三男 68 (本人) 栄町

星名 善雄 75 (賢治) 伊友

田中 恒蔵 81 (一良) 仁田

若山 ミツ 85 (義忠) 新町新田

小海 珍亮 87 (益男) 小根岸

中條 チイ 89 (興作) 仁田

星名 イマ 91 (虎雄) 伊友

軍服を案山子に着せて立て、あり

足立区 山形 頼太

うすうすと月も残りて朝雲

三領 高橋たかし

喪の家へ曲る矢印白木櫓

伊勢原市 金子 桂吉

カセットの経をしづかに秋彼岸

中屋敷 数藤 壮一

騒音に鳴きやみもせず草ひばり

練馬区 須藤 遊人

稲株に蝶とび交う秋日和

木落 丸山鉄四郎

萩の山蝗の骸二つ三つ

上野 入沢 はや

投句要領

—締め切り 毎月末日厳守—
 ▶はがき1枚に5句前後。▶題は特に定めません(当季雑詠)。
 ▶住所、雅号と氏名明記。▶役場内『文書広報係』か、中央町「太田白南風」あて。▶初心者
 の投句歓迎。

シルバーサークルで健康づくり

五月にシルバーサークルが発足。毎月第二・第四金曜日の午後、総合体育館で活動しています。このサークルは、高齢者から軽スポーツを通じて、健康づくりを進めたいと、スタートしました。

参加するきっかけは……
 これからの老後を健康で過ごす。参加者は、いつでも、十二人ほどです。年齢にこだわらずに、気持ちよくできる運動ですから、もっと気軽に参加して欲しいと思います。

参加者は、いつでも、十二人ほどです。年齢にこだわらずに、気持ちよくできる運動ですから、もっと気軽に参加して欲しいと思います。

参加者は、いつでも、十二人ほどです。年齢にこだわらずに、気持ちよくできる運動ですから、もっと気軽に参加して欲しいと思います。

参加者は、いつでも、十二人ほどです。年齢にこだわらずに、気持ちよくできる運動ですから、もっと気軽に参加して欲しいと思います。

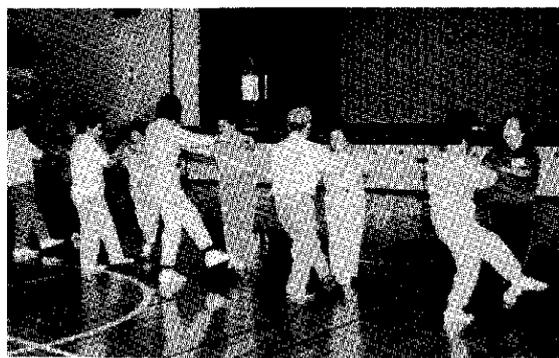
参加者は、いつでも、十二人ほどです。年齢にこだわらずに、気持ちよくできる運動ですから、もっと気軽に参加して欲しいと思います。

参加者は、いつでも、十二人ほどです。年齢にこだわらずに、気持ちよくできる運動ですから、もっと気軽に参加して欲しいと思います。

参加者は、いつでも、十二人ほどです。年齢にこだわらずに、気持ちよくできる運動ですから、もっと気軽に参加して欲しいと思います。

参加者は、いつでも、十二人ほどです。年齢にこだわらずに、気持ちよくできる運動ですから、もっと気軽に参加して欲しいと思います。

参加者は、いつでも、十二人ほどです。年齢にこだわらずに、気持ちよくできる運動ですから、もっと気軽に参加して欲しいと思います。



笑顔でレクリエーションダンス (9・22)